

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 月 日

事業所名: 放課後等デイにじい

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習スペース、余暇活動ルーム、クールダウンルームで分かれている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			ただし、介助が必要な利用者が複数いる場合は人数と比例しない場合あり。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			構造化をしながら動線を考え、定期的な見直しを実施。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		業務日報に貼り付け意識を高めている。	時間を設け、部署間で共有することとしている。改善に至るまでにやや時間がかかることが課題。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表のみでなく面談で聞き取り実施。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		実地指導や第三者評価機関の結果に基づき改善。	できていないところを明示する必要あり。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		療育活動の中で実施しているSSTやABA、PECSの研修	社内研修及び外部研修の積極的参加。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		より具体的な支援計画を立てるため、毎日の活動・課題記録をデータに残す。行動分析表も含む。	指導員みなが共通の認識を持ち、児童一人ひとりの変化に気付く。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		自立課題・ASD・行動障がい等其々のアセスメントシートを作成。	現場指導員も使用しながら、担当利用者のアセスメントを実施していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		プログラムを毎月保護者に配布。	長期休みのプログラムの充実。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		メンバーにより曜日で固定する場合あり。(調理やリミック)	何らかの活動に参加できるよう柔軟に対応できる力。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別活動、集団活動(療育)を時間割で実施。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日朝礼で確認。前日の振り返りも同様。	指導員間の声掛け。(現場支援時)
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		業務日報にも記載をし、緊急性の高い案件が出た際はケース会議を実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		ケース記録の充実。気付き。指導員のスキルの差。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に一度のモニタリング・保護者面談。面談にはいつでも応じられる。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20		○		相談支援事業所主催の会議が未実施。
	21	○		年間計画や月間予定をもらい、確認。他、参観や教員との面談で連携。	コロナの影響もあり、昨年度から教員との面談が減少。書面や電話でのやり取りなど工夫が必要。
	22	○			
	23	○		情報共有の場あり。訪問や電話でのやり取り実施。	気軽に見学や体験に来られるようなシステム作り。
	24	○		昨年度卒業児童については高等技術専門学校と支援内容の情報共有実施。	
	25	○		交流会に参加。発達支援センター主催のセミナーに参加。	
	26		○		支援学校に通っている児童についてはほばないため、交流できる機会は作りたい。
	27		○	相談支援専門員が参画。	
	28	○		連絡ノートの活用。送迎時の際の伝達。懇談の実施。	
	29		○		家族支援については今後力を入れていきたい。現在は懇談のみの実施。
保護者への説明責任等	30	○			
	31	○		いつでも懇談や電話で対応できることを伝達している。	保護者によっては一人で抱え込んでいる場合があるかもしれないことを考え支援する。
	32		○		親の会への参加や保護者交流会の実施を検討中。
	33	○			
	34		○	定期的に通信を発行しているが、不十分なところあり。	
	35	○			
	36	○			
	37		○	コロナの影響で未実施。	